

【第2回摂津市地域福祉計画推進協議会議事録】

平成19年2月1日
午後2時～4時10分
本館3階 大会議室

出席委員：井岡 勉、下野英世、前田一彦、梶村源二、野口良美、園田純一、山下弘子、
小松きよみ、高野 進、逸見 昭、宇野勝巳、北川照子、前川 茂、柳 尚夫、
堀口賢司

欠席委員：安井喜行、三浦節子、高岡國士、西本 勝、源 勁一、北 晴美、 岡芳一

事務局：佐藤芳雄、丹羽和人、畑原陽介、林田直和

[会議開催]

(事務局) 本日は公私なにかとお忙しい中、第2回摂津市地域福祉計画推進協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。

私、保健福祉部次長兼福祉総務課長の佐藤でございます。本日はよろしくお願ひ致します。出席委員は15名でございます。

それでは井岡会長からご挨拶と進行をよろしくお願ひしたいと思ひます。

(会 長) [あいさつ]

それでは、次第に沿いまして、事務局より地域福祉計画推進状況報告書の説明をしていただきます。

(事務局) 事前にお渡しさせていただいておりますので、ご一読いただけている委員の皆様もいらっしゃると思いますが、参考資料と合せてご説明させていただきます。

説明

(事務局) ご説明させていただきました報告書について、何かご質問はございませんでしょうか。

(委 員) 目標値は、計画の五年間でのものか、一ヶ月平均のものなのか。
また、指標の中に率を入れているものがあるが、分子分母を入れて欲

しい。

それから、医療体制についてお聞きしたい。救急車がなかなか来なかつたりと医療に対する不安は高くなっていると思う。摂津市には総合病院が無い。府、近隣市との連携状態はどうなっているのか。緊急救命センター、2次病院がどこにあるのかわかりにくい。広報で知らせるなどの対応が必要では。三島千里救急センターとの関係はどうなのか。また、救急車の出動回数が出ていたが、台数はどうなのか。救急車の到達時間はどれぐらいなのか。保険料の滞納者が市でどれぐらいいるのか。保険証をとりあげた後に資格証明書は発行しているのか。

(事務局) ご質問についてですが、まず、目標値の点については年単位で考えているが、ご指摘の点は検討させていただく。次に指標の率については、分子分母を入れさせていただく。最後に医療体制についてですが、把握できていない部分もあるが、情報収集含めて検討させていただく。

(委員) 先ほどの質問についてですが、医療体制については、医療圏域という単位を基本にしている。摂津市、茨木市、高槻市、島本町の3市1町で三島医療圏を形成しており、その中で2次病院を当番で持ち回りしている。また、医療機関情報は、府のホームページでも見ることが出来る。救急車等の質問については、市の消防でデータは持っていると思う。市の医療体制はまず、1次病院は市町村単位でというのが基本で、摂津市の場合、2次病院で吹田市の医療機関を利用している人が多い。摂津市の医療圏とは別の圏域となっており、市長も参加している医療協議会の中で、この点は検討している。2次病院まで市でコントロールするのは難しい。救急車での搬送の件について、台数を増やせばいいかということ、足代わりに利用されるおそれがある。地域でどうお互いを支えあうかといった方向で議論するほうが良い。府では電話相談も行っている。ぜひ福祉の視点で議論を。

(委員) 総合病院が無いとのご指摘ですが、以前に8万5千人規模の人口では市民病院の設置は難しいとの判断が出ていたと思う。福島県の大淀病院でしたか、産婦人科医が胎盤手術を行った際に、刑事事件で裁判になりましたが、いま勤務医の体制が不安定になっている。この点についてはご理解を求めます。小児救急は昼間は摂津市でも行っており、夜間は、高槻市、島本町が行っている。摂津市医師会も人手不足ではあるが、医師を派遣しており、私も出ている。

(事務局) 国保のご質問の件ですが、保険料を納めている人は、86.2%ぐらいで、遅れて納める人を含めると約91%になる。9%が未収。11月に資格証明証の更新作業を行っており、一昨年でおおよそ60名に出している。これは国民健康保険法で1年以上の滞納者には資格証明証を出す規定になっているからである。ただ、この規定をそのまま運用に当てはめているわけではなく、医療証が出ている方は、全員除外している。

また、一定以上の所得があり、支払い能力があるにも関わらず1年以上の滞納をしている方については、職員が全件家庭訪問している。法規定を踏まえつつ、滞納者が最小限になるよう努力をしているのでご理解を。

(委員) 平成18年度が終わろうとする時期に平成18年度予定と言われてもどうしようもない。この時期に会議を持つのは遅すぎる。委員の意見が計画推進に反映できるのかと思う。平成19年度は中間年とことなので、中間的な数値を資料で出していただき、その検討のために、年1回以上会議を開催していく必要がある。

(事務局) 平成18年度予定となっている点について、まだ年度が終了していないことを考慮するとそのような標記になってしまった。次年度の会議については、中間年ですので、なるべく早い時期にと考えている。

(会長) 平成18年度予定の数値はほぼ実質値に近いので、平成17年度終了後すぐに会議を開催したほうが良かった。平成18年度分についても、平成18年度終了後、できれば、2ヶ月ぐらいの間に一度開催して総括するのが大事だと思う。年2回ぐらいは適切な時期に開催するということがお願いしたい。

(委員) この報告書はわかりやすく出来ていると思うが、質や中身がややわかりにくい。具体的にNo.4では、サロン回数を指標としているが、数字以外の部分で、例えばどういう分野で校区別で取り組まれているのかといった、質的評価を入れてみてはどうか。No.5及び6では、NPOと障害者団体のことが書かれているが、障害者団体でもNPOであったりする場合もあるのでは。その兼ね合いがわかればと思う。No.5の施策の方向で、ボランティア団体の福祉事業への参加を促進とあるが、逆に「こういったボランティアグループがあったら良い」という

提案をしても良いのでは、そういったグループが出てくれば実現ということになる。No.23及び24で、介護保険事業者は地域と密接なので、できれば「こんなサービスが必要だ」という事例を挙げての提案もひとつ。富山方式と言われるが、例をあげると、「認知症予防」、「子どもが集う」などの項目を。数字と質の両方があれば、見直しの際に市民も見やすいのではと思う。

(委 員) 全庁的な体制づくりといってもこれまで実績がない。横のつながりが希薄だ。せつかくこういった報告書ができているのだから、庁内の連絡体制をつくり、皆で情報を共有するべきだ。行政はPRが下手である。地域でも協力していく必要があるので、例えば老人クラブなどでも、動員以外にもっと利用したらよい。役員会での報告書配布などもさせてもらうこともできる。

(委 員) 各事業を縦割りではなく網羅することがポイントだと思う。具体的に言うと、No.21は、もっとふさわしい別の指標があると思う。No.22は、摂津市健康づくり推進協議会ではなく、介護保険事業所が一番あてはまるのでは。ケアマネージャーの数など。No.26は、休日診療所の受診者数がよい。高槻・島本へ行った摂津市民の利用者数は大幅な変更があるので出すのは難しいが。No.28は、役所内で確認がなんらかの形で行われているのでは。細かなものでも数字で入れたらどうか。

(事務局) No.28について、まだ庁内の部会ができてませんので、数字としては入れてませんが、いくつかの部分で確認は行っている。

(委 員) 評価・課題が一緒になっているので分けたほうがわかりやすい。課題に対する対応とは別で評価を。ボランティアについては、団塊の世代からも人材が確保できればと考えている。京都は男性が多いが、摂津市は男性が少ない。

(会 長) 若い世代、団塊の世代をどうボランティアで取り込むのかが課題。関係団体とも相談の上、報告書を作成すればなおギャップが無くてよいものになる。

(委 員) No.24だが、基本的なサービス情報の公表は各施設のホームページ

で行っている。地域密着型のサービスについては、載せていないものもあるので、それを踏まえてデータ収集をされたらよい。報告書の中で、CSWが5名いることが書かれているが、我々介護保険事業者にも5年間だが、1名、後見支援員というCSWが配置されている。あと2年で終わるが、これら両CSW同士の連携はできないものか。

(委 員) 私は文科系の分野から選出されている。推進委員は、様々な分野から多くの方が出ている。各委員から分野ごとの評価・問題点・感想・意見なども報告書に反映させることができないか。

(委 員) おっしゃることもよくわかるが、そこまで細かく反映させるのは難しい。地域福祉を全体的な観点で見ていくということをしないと会議が進まない。この点についてはご了承いただきたい。

(会 長) 他にお気づきの点がありましたら事務局へおっしゃってください。私から、気づいた点をいくつか。指標等について、計画と照らして合致しているのかと思う項目がいくつか見られた。数値化が無理な場合は、質の面を文章で記載することも良いと思う。
それでは、今後の日程について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 平成19年度に入って早々に、次回会議を開催していきたい。来年度は2回程度開催していきたい。また、庁内の連絡体制という部分で、作業部会を立ち上げていく予定。

(会 長) 作業部会は大事。より充実した報告書を出していただく意味で、それを楽しみにしていきたい。
それでは、本日の議事日程は、ほぼ終わりましたので、これもちまして第2回の推進協議会を閉会いたします。
委員の皆様、本日はご苦勞さまでした。

[会議閉会]